

NY マーケットレポート (2017年4月20日)

NY 市場では、欧米の株価が堅調な動きとなったことや、米債券利回りの上昇を背景に、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、北朝鮮問題やフランス大統領選を控えて思惑も交錯し、上値の重い動きも見られた。

その後、黒田日銀総裁が、極めて緩和的な金融政策を続ける方針であると発言したことから円売りが加速する場面もあった。また、米財務長官が税制改革案の提示は近いとし、税制改革が年末を待たずに実現することを望むと発言したこともドルの押し上げ要因となった。

一方、ユーロは、フランス大統領選の第1回目の投票を控えて、テレビ討論会が予定されていることから、やや様子見ムードも出ており、終盤まで上値の重い動きが続いた。また、日本時間の朝方、パリで発砲事件が発生したことも若干影響した。

2017年4月20日(木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	109.00	109.06	108.72
EUR/JPY	117.16	117.21	116.54
GBP/JPY	139.74	139.85	139.02
AUD/JPY	82.02	82.05	81.55
EUR/USD	1.0748	1.0750	1.0709

LONDON	高値	安値
USD/JPY	109.12	108.95
EUR/JPY	117.50	117.12
GBP/JPY	140.06	139.48
AUD/JPY	82.11	81.92
EUR/USD	1.0778	1.0742

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	109.30	109.49	108.98
EUR/JPY	117.13	117.82	117.09
GBP/JPY	140.10	140.34	139.51
AUD/JPY	82.25	82.51	82.01
NZD/JPY	76.63	76.77	76.47
EUR/USD	1.0717	1.0777	1.0715
AUD/USD	0.7525	0.7547	0.7519

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20578.71	+174.22
S&P500	2355.84	+17.67
NASDAQ	5916.78	+53.74
日経225 (CME)	18570	+180
トロント総合	15625.56	+72.68
ボルサ指数	49144.96	+271.12
ボベスパ指数	63760.62	+353.65

4/21 経済指標スケジュール

10:00	【ニュージーランド】4月ANZ消費者信頼感指数
13:30	【日本】2月第三次産業活動指数
16:00	【スイス】3月マネーサプライ
16:00 ~ 17:00	【フランス】【ドイツ】【欧州】4月製造業PMI・非製造業PMI
17:00	【欧州】2月経常収支
17:30	【香港】3月失業率
17:30	【香港】3月消費者物価指数
17:30	【英国】3月小売売上高指数
21:30	【カナダ】3月消費者物価指数
22:45	【米国】4月マークイット米国製造業PMI
23:00	【米国】3月中古住宅販売件数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1283.80	+0.40
NY 原油	50.27	-0.17
CMEコーン	364.25	-4.00
CBOT 大豆	956.75	-3.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.189%	1.177%
3年債	1.401%	1.382%
5年債	1.767%	1.741%
7年債	2.050%	2.023%
10年債	2.236%	2.214%
30年債	2.886%	2.871%

ドイツ10年債	0.244%	0.203%
英国10年債	1.069%	1.065%

4/21 主要会議・講演・その他予定

- ・ ミネアポリス連銀総裁 討論会
- ・ IMF・世界銀行春季大会 (～23日)
- ・ フランス大統領選挙 第1回投票 (23日)

NY 市場レポート

20 : 40

◀ 要人発言 ▶

カプラン・ダラス連銀総裁～インタビュー

- ・「10年債利回りは、地政学的リスクを反映している部分もある」
- ・「今年3回の米利上げ予想は、基本線として依然有効」
- ・「今年後半か来年初めにバランスシートの縮小を開始する可能性もある」
- ・「バランスシート縮小は、段階的かつ徐々に行う」
- ・「バランスシート縮小は、開始する最低数ヵ月前には発表する」

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月ポーランド生産者物価（前月比） -0.1%（予想 0.0%・前回 0.1%）
 前回発表の 0.0%から 0.1%に修正

3月ポーランド生産者物価（前年比） 4.7%（予想 4.7%・前回 4.5%）
 前回発表の 4.4%から 4.5%に修正

3月ポーランド小売売上高（前年比） 9.7%（予想 8.6%・前回 7.3%）



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 24.4万件 (予想 24.0万件・前回 23.4万件)

米失業保険継続受給者数 197.9万人 (予想 202.4万人・前回 202.8万人)



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

米失業保険申請件数は、前週比+1.0万件的24.4万件的と、市場予想の24.0万件的を上回り、4週ぶりに増加した。申請件数の4週移動平均は、前週比-4250件の24.3万件的となった。

また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-4.9万人の197.9万人となり、3週連続で減少した。受給者総数の4週移動平均は、前週比-0.2万人の202万3500人となった。受給者比率は、前週比0.1ポイント低下の1.4%だった。

21:30

《 経済指標の結果 》

4月フィラデルフィア連銀景況指数 22.0 (予想 26.0・前回 32.8)



出所：Bloomberg

経済指標データ

《フィラデルフィア連銀指数》

	4月	3月	2月	1月	12月	11月
景況指数	22.0	32.8	43.3	23.6	19.7	8.7
仕入価格	33.7	40.7	29.9	32.5	28.1	27.6
販売価格	16.6	20.6	10.6	26.8	8.0	16.4
新規受注	27.4	38.6	38.0	26.0	14.9	15.2
出荷	23.4	32.9	28.6	20.5	21.7	16.6
受注残	6.6	14.4	10.7	10.7	3.6	3.3
入荷遅滞	13.2	4.5	4.1	5.4	5.4	3.7
在庫水準	17.8	11.8	-4.7	12.2	1.3	12.3
雇用者数	19.9	17.5	11.1	12.8	3.6	-4.1

6ヵ月先予想

	4月	3月	2月	1月	12月	11月
景況指数	45.4	59.5	53.5	56.6	48.7	32.2
仕入価格	34.7	55.7	51.1	49.0	46.5	38.8
販売価格	28.6	40.2	23.5	27.5	29.1	30.6
新規受注	55.9	61.0	51.5	54.5	48.8	41.1
出荷	44.7	54.8	51.7	59.1	46.7	31.7
受注残	22.2	16.7	19.5	25.8	16.3	10.6
入荷遅滞	4.5	7.7	11.5	14.2	12.5	5.4
在庫水準	12.1	16.3	14.1	10.9	18.9	6.0
雇用者数	37.6	38.5	28.5	38.6	24.2	14.4

22:50

《 要人発言 》

ラガルド IMF 専務理事

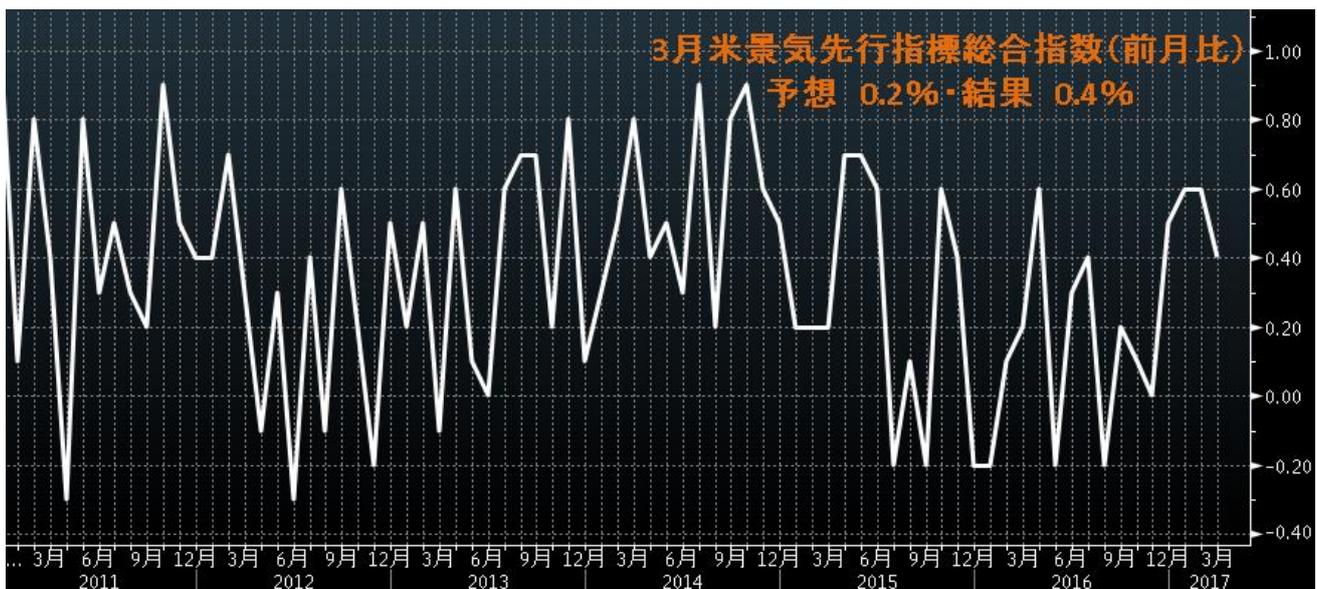
・「世界経済はようやく勢いを付け始めた」

23:00

《 経済指標の結果 》

3月米景気先行指標総合指数(前月比) 0.4% (予想 0.2%・前回 0.5%)

前回発表の0.6%から0.5%に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

◀米景気先行指数▶

3月・2月・1月・12月・11月・10月
 先行指数・・・0.4・0.5・0.6・0.6・0.2・0.2
 一致指数・・・0.2・0.2・0.0・0.4・0.1・0.2
 遅行指数・・・0.0・0.2・0.2・0.3・0.2・0.1

23:00

◀ 経済指標の結果 ▶

4月欧州消費者信頼感 -3.6 (予想 -4.8・前回 -5.0)



出所: Bloomberg

指標結果データ

◀ユーロ圏消費者信頼感指数▶

4月・3月・2月・1月・12月・11月
 ユーロ圏消費者信頼感指数・・・-3.6・-5.0・-6.2・-4.8・-5.1・-6.2
 EU消費者信頼感指数・・・-3.4・-4.2・-5.2・-4.3・-4.6・-5.8

23:00

◀ 要人発言 ▶

黒田日銀総裁～インタビュー

- ・「インフレ見通しは安定した為替水準が前提」
- ・「金融緩和の政策スタンスを維持へ」
- ・「資産購入やマネタリーベース拡大ペースは当面現状を維持する」
- ・「出口戦略を協議するのは時期尚早」
- ・「日本経済は潜在力を大きく上回って成長している」
- ・「為替上昇ならインフレ率2%達成がやや遅れ、下落なら早まる可能性も」

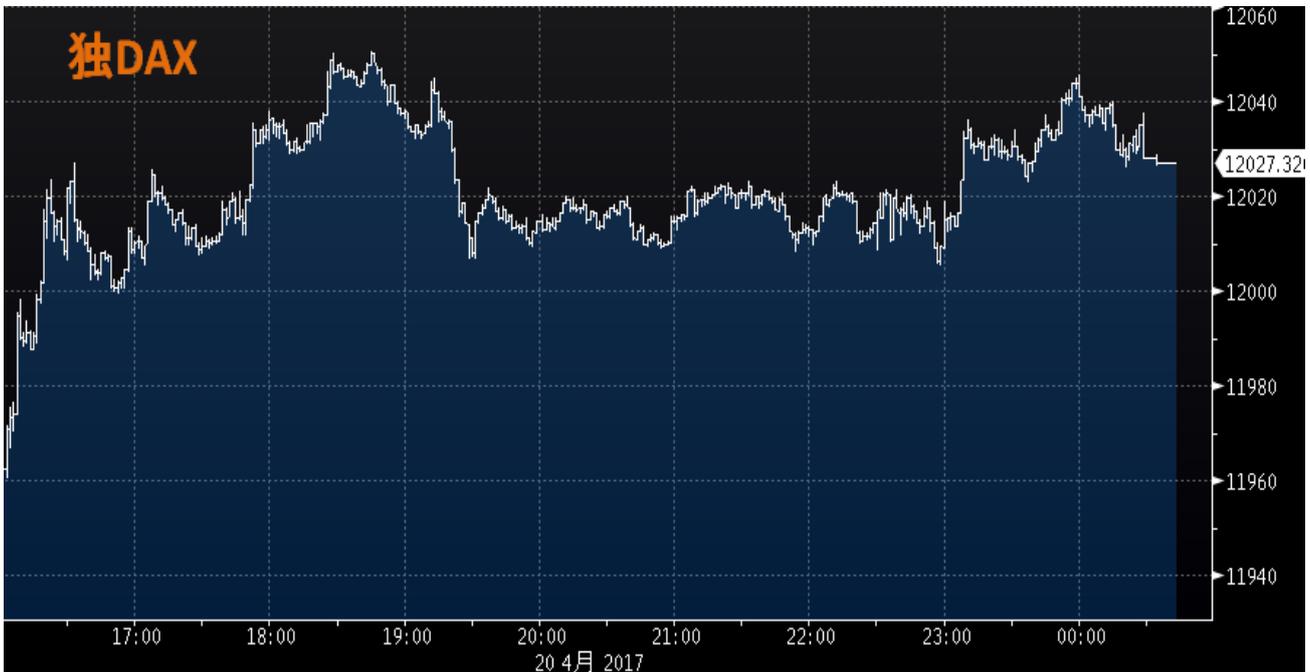
2 : 00

《米 5 年物 TIPS 債入札》

最高落札利回り -0.049% (前回 0.120%)
 最低落札利回り -0.200% (前回 0.000%)
 最高利回り落札比率 21.08% (前回 29.80%)
 応札倍率 2.52 倍 (前回 2.68 倍)
 発行額 160 億ドル (前回 140 億ドル)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、フランス大統領選に対する投資家の警戒心が和らぎ、フランス CAC40 指数は大幅上昇となった。また、英 FT100 指数、独 DAX 指数ともプラス圏で引けた。



出所 : Bloomberg

2 : 35

《 要人発言 》

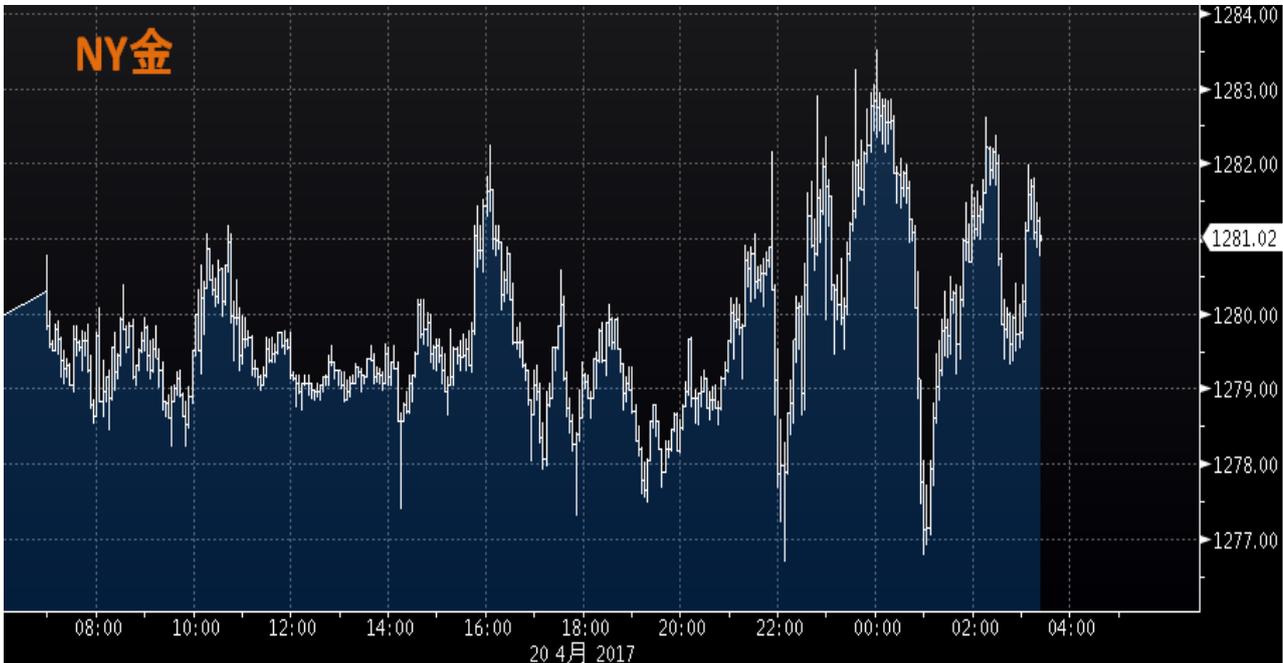
ムニューシン米財務長官

- ・「国境調整税の通貨への影響を懸念」
- ・「大型の税制改革を推進する」
- ・「医療保険法案の結果にかかわらず税制改革はやり遂げる」
- ・「債務の法定上限引き上げが望ましい」

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 0.40 ドル高の 1 オンス=1283.80 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルがユーロなどに対して軟調に推移したため、ドルの代替資産とされる金を買われた。ただ、フランス大統領選の第 1 回投票を控えて様子見ムードも強く、やや限定的な動きとなった。



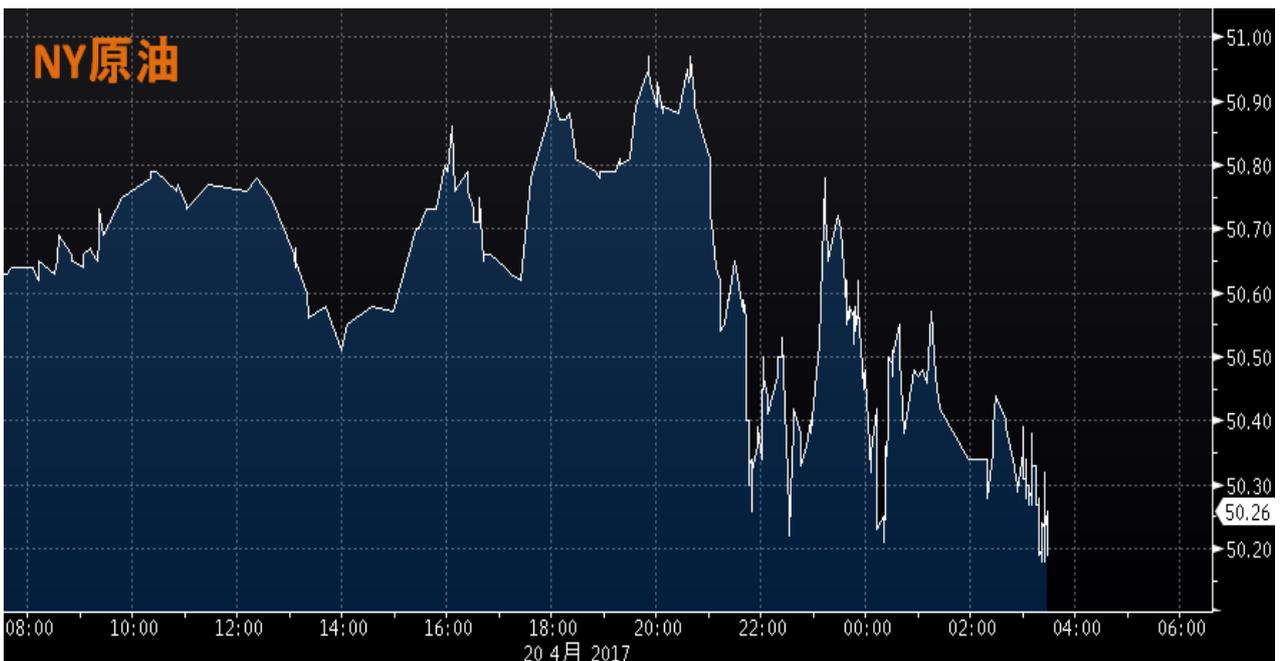
出所：Bloomberg

4 : 20

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日 0.17 ドル安の 1 バレル=50.27 ドルで取引を終了した。

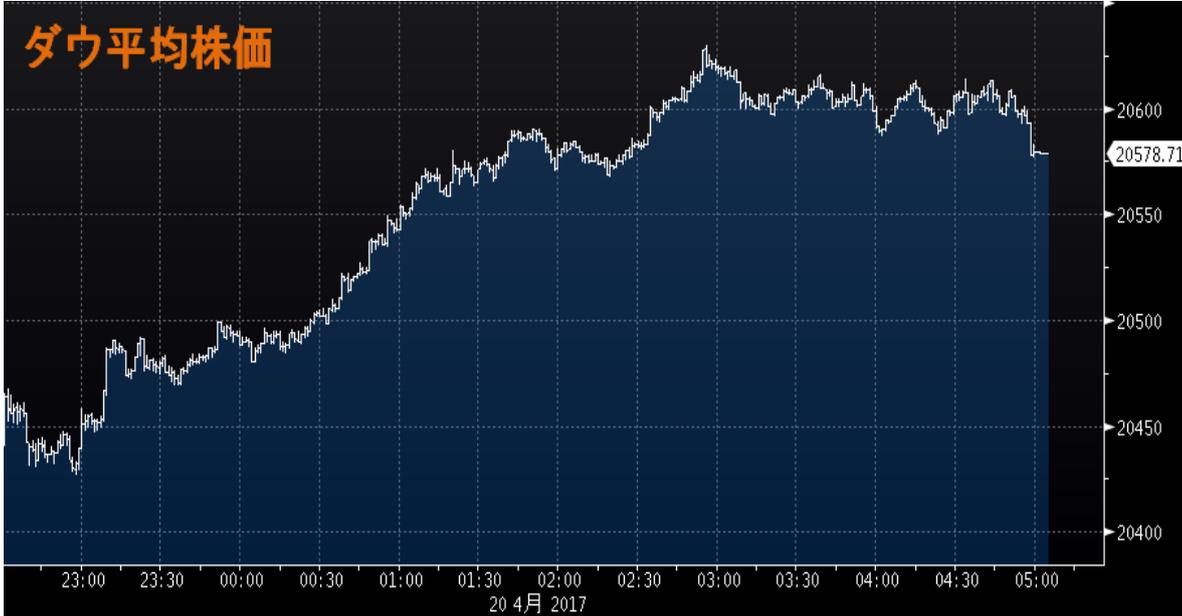
NY 原油は、米国原油の増産に対する警戒感を背景に、上値の重い動きとなる一方、OPEC と非加盟国の協調減産が延長されるとの期待から買いも入り、底固い動きとなった。



出所：Bloomberg

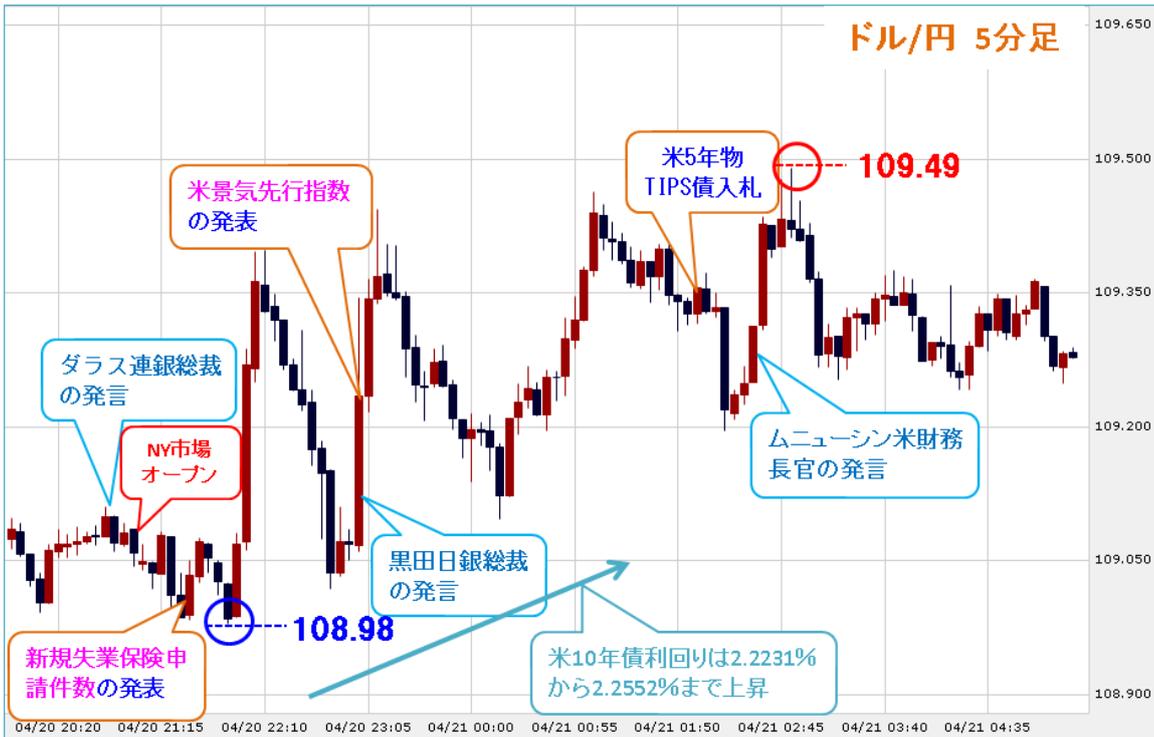
《米株式市場》

米株式市場は、日本や欧州主要株価が堅調な動きとなったことに加え、前日までの値下がりや割安感の出た銘柄に買い戻しが入ったことを受けて、序盤から堅調な動きとなった。また、決算を発表した金融・旅行大手が急伸したことも押し上げ要因となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比 225 ドル高まで上昇したものの、引けにかけてはやや上値の重い動きとなった。



《外国為替市場》

外国為替市場は、欧米の株価が堅調な動きとなったことや、米債券利回りの上昇を受けて、ドル買い・円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。また、黒田日銀総裁が、資産購入やマネタリーベース拡大のペースは当面現状を維持すると発言したことを受けて、円売りが加速する場面もあった。ユーロは、フランス大統領選に対する警戒感もあり、やや上値の重い動きが続いた。



提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。